

# 平成 22 年度第 3 回新発田市新庁舎建設構想等策定委員会議事要旨

日時：平成 22 年 9 月 1 日（水）

19：00～20：30

場所：市役所別館 2 階 会議室

## 出席者

委員：12名

市職員：総務部長、総務課長、新庁舎建設室 5 名

傍聴者：3 名、報道関係者：5 名

## 配布資料

- ◆ 委員会次第
- ◆ 委員会資料

## 1 開 会

## 2 議 題

### (委員長)

前回の会議の内容について確認する。

前回は、事務局から市の考え方として、庁舎の位置、敷地規模、庁舎の方式と建物の規模、そして概算事業費について示され、委員各位からご意見を頂いた。

庁舎の位置と敷地規模について、事務局案は、「現庁舎の敷地とし、必要に応じて図書館側も活用し、全体で 13,300㎡」。委員の意見としては、「場所や規模は、基本的な考え方をまとめた後に決めるのが普通で、時期尚早。」「いろいろな場所を一覧にして比較検討すべき。」「各種計画を勘案すると、消極的だが現庁舎周辺が望ましい。」「現庁舎の場所に市役所がある事は当然と考えている方もいる。」「駅や病院が近くカルチャーセンターがベスト。」。様々な意見が出され、現段階では一定の方向性が見出せない状況である。

続いて、庁舎の方式と建物の規模について、事務局案は、「既存施設を活用し、段階的に集約を図り、概ね現庁舎と同じ規模の 10,000㎡～11,000㎡」。委員の意見としては、「集中か分散かではなく、答えは中間。トータルで考えないと答えは出せない。」「消極的だが、現施設を活用した段階的集約にならざるを得ない。」「市長室や総務など以外は分散すべき。公共交通システムなどを同時に検討すべき。」「災害対策本部の機能を考えると、ある程度大きな規模や、ある程度の集中が必要。」「市役所が分散した状態で、完全な市民サービスを受ける事には限界があり、市民が動いてサービスを受ける事にならざるを得ない。」。これ以上の分散もという意見もあったが、概ね事務局案で異論はなかったと考えている。

続いて、新庁舎の概算事業費について、事務局案は、「財政計画に示す 61.4 億円以内」。委員の意見としては、「不透明な時代のため、お金を使い過ぎない事が必要。60 億円より下げてもいいのではないか」。概算事業費についての議論は出つくされていない状況。具体的な金額の議論は、委員会では不可能で、コスト削減などを提言していく事が大切と考える。

まとめると、庁舎の位置を除いた、既存施設を活用し段階的に集約する事、概ね現在と同規

模の庁舎、事業費は出来る限り削減などの方針には、大きな異論がない。位置も様々な意見が出ていて、庁舎の機能など様々な要素も併せて検討していく必要がある。

以上の事から、本日は庁舎のコンセプトや機能面を検討し、その上で再度、位置の議論に戻りたいと考えている。このような進め方で如何でしょうか。

～ 各委員、了承 ～

## (1) 第2章－1 新庁舎の基本方針（コンセプト）について (事務局)

～ 資料に基づき説明 ～

(委員)

事務局に聞くが、事務局の認識としてコンセプトという言葉は、どう認識しているか。新庁舎の基本方針のコンセプトは何になるのか。

一言、あるいは、1行で集約される強い言葉でなくてはおかしい。昔で言えば「質実剛健」という言葉がある。例えば、これからの庁舎は、「質実剛健」がコンセプト。様々な考えがある中、余計なものを削ぎ落として、無駄を削ぎ落として、そういう覚悟を持ってコンセプトは決まる。そのコンセプトがあつて、そこから落とされてきたものが基本方針になると理解している。そこからすると、どこにコンセプトがあるか分からなかったの、聞いた。

(委員長)

この3市（八幡平市、一宮市、燕市）の基本構想には、基本方針の前に、全体に共通する考え方の下で具体的な項目を示している。委員は、それは何かを聞いていると思う。

(事務局)

ベースの庁内検討報告書には、キャッチフレーズのような短くまとめられたものはない。7つの基本方針のエキスを抽出して、1つにまとめた大きな概念を付け加えて頂きたい。

(委員)

是非、骨の太いものを作って頂きたい。

(委員長)

これから議論が徐々に進んでいく過程で、大本の顔の部分が、後追的に出てくると考える。

(委員)

「2 人にやさしい庁舎」のソフト面のバリアフリーという意味が分からない。また、バリアフリーとユニバーサルデザインの違いが分からないので、説明して頂きたい。

(事務局)

ソフト面というのは、ワンストップも含め来庁者にやさしくなど、職員の意識も変えていこうという意思の表れ。例えば、100%施設面でバリアフリーにする事は出来ないの、声を掛ける事で補うという意味も含まれている。

バリアフリーとユニバーサルデザインについて、バリアフリーは、壁をなくするという事。ユニバーサルデザインは、最初から誰でも使える、誰に対してもやさしいという意味。

(委員)

辞典では同じような意味ではないか。2つの文章を1つにまとめて分かりやすくすべき。

「3 環境との共生、周辺との調和ある庁舎」の上から2つの文章がまとめると、3番目の「地球環境に配慮した庁舎」になるのではないか。

(事務局)

3つの文章を合わせて、きれいにまとめ上げたい。

(委員)

「5 市民協働の拠点となる庁舎」の3つ目について、現行政では、この機能の役割はどの部署で、どの場所でやっているか。

(事務局)

これらの機能は、市民まちづくり支援課、本庁舎の3階でやっている。市民活動の拠点として、各支所庁舎も位置付けられているが、その本体機能は、やはり市民まちづくり支援課。

(委員長)

3市の基本構想を見ると、どこにも、このような事を伺わせるものがある。ここは、個別具体的に書けない部分なので、市として、こういう事なのだという事が述べられれば十分。

(委員)

例えば、「まちの駅を想像してください。」という事であれば、この文章は理解できる。

(事務局)

当市には今ないが、イメージに一番近いのは、社会福祉協議会のNPOサポートセンター。自治会を含め広くサポート機能の本体部分を、ここに持たせたい。今、庁舎には来客スペースはあるが、NPOの方が自由に来て活動するスペースがない。そういった機能を持たせたい。

(委員)

ここに7つの基本方針があるが、私はいいなと思っている。

ただ、3に「城下町の情緒ただよう街なみと、歴史や文化との調和のとれた庁舎」とあり、7に「無駄を省いた経済的な庁舎」とある。デザインばかり重視して、事業費が高くなならないよう吟味して頂きたい。

(委員長)

3の「環境への負荷をできるだけ低減の・・・」とあるが、建物に対して省エネ的な設備をするというのは後追いで、まず、建物の形などに、どのような省エネ効果があるかを考えて、更に、設備的なものを省エネでやる。そういう事が感じ取れる文章であればいい。

具体的に言えば、自然光を利用するようになっていない部屋に、省エネ型の電灯を付けても意味がない。初めから自然光を取り入れる設計をして、なおかつ、暗くなった時には、省エネ型の照明という事。建物全体を、そういう考えで、この項目を見てもらえればいい。

(委員)

高齢福祉課は今2階にある。高齢者にとって2階まで上がるのは大変。4の「来庁者にとって接しやすい窓口」とあるので、高齢者や障害者に使いやすい場所に窓口を設置して欲しい。

(事務局)

そういった要望や不便な点をまとめていくと基本方針になる。付け加えていきたい。

(委員)

5の「市民協働の拠点となる庁舎」について、自治会連合会としては、いいと思っている。是非、実現したい。

2の「人にやさしい庁舎」について、バリアフリーやユニバーサルデザインが整わなくては公共施設と言えない。ある役所には、市長がいるのか、いないのかが分かるようになっていた。公務の場合、部長くらいまでは、どこへ行っているか分かるようにして頂ければ助かる。

(事務局)

今も、現庁舎の入口に、出勤灯でいるか、いないかが分かるようになっている。

(委員)

その庁舎では、かなり大きく出ていた。

(事務局)

検討したい。

(委員長)

3市の資料の中には、窓口のプライバシーをどのように保護するかも出ていた。

(委員)

基本方針に掲げられている7つは、庁内の検討委員会で、新庁舎にこういうものが欲しい、若しくは、現庁舎にはこれが足りないというものを議論した結果だと理解している。

その中で、3の環境と7の経済性に関連するが、省エネの設備を入れようとする、コストが高くなる。相反する事だが、コストも抑えつつ、出来る限り省エネ対応の建物を実現できればいいと思う。妙高市役所は、自然に風通りを良くするような造りをしていて、県内でも、良い事例があるのだと印象深かった。そういったものを積極的に取り入れられればいい。

5の「市民協働の拠点となる庁舎」について、具体的には、市民が気軽に市の情報が得られる情報端末を設置や、まちづくり活動をしている団体が、土日でも気軽に使用できるように多目的な会議室を1階に設けるなどのスペース・設備が欲しいのではないか。

市民サービスを向上させる要素として高度情報化対応がある。「情報は資産」と言われる時代。サーバー室などの強固にセキュリティを守らなければならない所は、少し予算を掛けて欲しい。各課に情報端末を置くので、OAフロアにして端末の移動も容易に出来るようにして頂きたい。

(委員)

基本方針は、最低限どれも必要。他市を見ても、ユニバーサルデザインから地球環境まで、当然の事である。

コンセプトのところで、「質実剛健」という言葉を聞いて、まさにコンセプトだと感じた。明治維新の時の「富国強兵」が、まさにコンセプトである。新庁舎のコンセプトも何か必要だと考えている。それが何かを考える要素として高齢化社会がある。それを学ぶとしたらヨーロッパかも知れない。新発田の個性と組み合わせると、新発田らしいコンセプトが生まれてくる。

(委員長)

自然エネルギーを活用するにしても、省エネルギー型の建物にするにしても、ライフサイクルコストで、実際に決まってくる。今、建物を建てる時に、ライフサイクルコストの提案がない事はないので、その提案の内容も比較できる。

(委員)

基本方針の1から7まで、どれも必要だが、客観的に見ると、何も新発田だけではない。他市の庁舎が老朽化して建て直す時でも同じ話になるのだろう。「新発田は、そういう事を考えるのか。」というユニークさや、新発田の街の特性を、事務局はどう考えたのか。

(事務局)

新発田らしさや、新発田の特性を前面に打ち出した部分は、今のところあまりない。一般的な庁舎の考え方の下で作っていて、はっきりした方向性は出していない。

(委員)

大事な事は、白紙のキャンバスに絵を描くのではなく、既に歴史のある街の中でやらなければならない事。

先日、商工会議所の提案を見て、建物が長屋風で、新発田を意識しているのが分かったが、果たして、ここに全部収まるのか。職員1人何㎡必要で、元々500人近くのもの減って、1フロアが数字化された。この数字を基に500分の1のボリュームを造ってみた。市役所1階の立体模型と同じサイズである。実際に、商工会議所の案を積み上げたら、多分、収まらない。新発田城が見えるとか、見えないとか。部署同士の距離とか、部署が分かれても近くにある事で問題なく業務が出来るとか、具体的に何パターンかシミュレーションできないか。

(委員)

基本方針では、全国どこの策定委員会でも同じ論議をしているのではないか。八幡平市を見ても、一宮市を見ても、出ている結果は、今の項目以上でも以下でもない。

新発田市は何かというと、当市の現状、分庁舎の問題、景観計画・まちづくり計画との整合、歴史。これは後付けの話だと思うので、基本方針の論議は以上でよろしいのではないかと。

(委員長)

この議論は、一旦これで止めて、次のところに移りたいと思うが、よろしいか。

～ 各委員、了承 ～

## (2) 第2章－2 新庁舎に求められる機能について

(事務局)

～ 資料に基づき説明 ～

(委員)

「市民機能」の中の情報センター機能は、多分、デジタルサイネージ（電子看板）の事だと思うが、市外の観光客向けの情報を入れた方がいい。市役所の情報サーバーに市民向け・観光向けの情報が混在してストックされていると思うが、駅前のインフォメーションセンターなど新発田全体で展開していくといい。「市民同士」とあるが、美術展、ギャラリー、写真展は、市民だけでなく観光客を含めて両方が大事になる。

(委員)

1つ目に「機能配置の基本方針」とある。基本方針と謳ってありながら、1番目は地震の発生。6番目の「利便性の向上」には主語がない。もう少しコンパクトにして、全体の流れを、もう一度、事務局でまとめ直して頂きたい。

「事務機能」の「執務空間」の1番目に「行政サービスの効率的、効果的な推進」とあるが、何を推進するのか。将来の行政需要の変化に対応する考えもあるのだから、レイアウトの変更に対応できる機能を付け加えて頂きたい。

(委員長)

ある市の基本方針では、議会を健全者でないと傍聴できない状態になっているのはまずいという事で、障害者・高齢者が傍聴できるようにしたいというものがあった。

(委員)

「新庁舎に求められる機能」と掲げられると肥大化した感じがする。限られた予算・工期で、全部出来るのか。5の「市民機能」の中に「①市民の交流や憩いの場、イベント空間」とあるが、現にこの機能は生涯学習センターや地域交流センターにある。既存施設も活用する考えの中、新庁舎にここまで持たせる必要があるのか。5の①はそこまで力を入れなくてもいい。

(委員長)

事務局も、新庁舎に全ての機能を持たせるのではなく、周辺の庁舎も巻き込んで、庁舎全体で機能を考えるという事。新庁舎の位置が決まっていないが、周辺に関連施設があれば、代替機能を整理する事もある。基本計画、基本設計に入ると、もう少し見えてくる。

(委員)

「会議室、打合せ空間」の部分で、「災害時には防災拠点として活用できるスペース」とあるが、具体的な活用のされ方が分からないので、説明して頂きたい。

(事務局)

災害対策本部というものがあり、市役所、消防、水道局、自衛隊、警察などの様々な行政機関やライフライン関係が集り、大きな会議を開く。その場合、この規模の会議室では入り切れないので、大きな会議スペースが必要になる。ただ、普段から極端に大きい会議スペースは必要ないので、いくつかの会議室を繋げて、1つの会議室として使うイメージ。

(委員)

常日頃から自治会などが会議や打合せで使わせてもらえるのか。また、NPOなどでも使わせて頂きたい。

防災拠点としての機能について、新発田市の地域安全課の職員は、警報が出ると出勤してくるが、これを24時間勤務させるのか。新潟県は24時間で対応している。

(事務局)

現在も警備員が24時間対応している。有事の際は、そこから緊急連絡が入り、担当が出勤する体制。地震では震度が4以上だと、ある一定の職員が集まり、5以上だと全員集まるなど決まっており、一応の対応がされている。一定の大きな災害は、災害対策本部が立ち上がり全庁体制になる。普段の火事でも全庁体制かというのと、そうではない。規模によりけりである。

(委員)

「市民機能」の市民交流の場は、生涯学習センターなどがある。あまり重要視しなくていい。

(委員長)

この議題について、様々な意見を頂いたが、基本的な部分は事務局の提案内容を活かして、進めてよろしいか。

～ 各委員、了承 ～

(委員)

市庁舎1階に立体模型があるので、絶対使って頂きたい。限られた時間の中で、出来る限り検討したい。いくつかのパターンを立体化して、その前でみんなと話し、意見を聞きたい。位置をどこにするか。その規模の建設は可能なのかが、そこで、初めて見えてくる。

(委員長)

頂いたご意見については、事務局と私で相談させて頂きたい。

(委員)

形に見えるものは必要。そうすれば、その場で分かると思うが、この時間帯では少し無理がある。休日を使って半日やらなければならない。そこまで皆さんが協力できるなら付き合う。

(委員)

見える事は、大事な事で、いいと思う。

(委員)

百年の大計なので、是非やって欲しい。

(委員長)

この件については、ここで一旦終了させて頂きたい。

事務局には、意見をまとめて頂き、内容によっては、次回の再協議にさせて頂きたい。

### 3 その他

(事務局)

次回の日程は、委員長と相談させて頂いた上で、調整させて頂きたい。

(委員長)

長時間に亘り、有難うございました。本日は、これにて閉会。

### 4 閉 会